

米国 Cirque 社での日本人学生インターンシップ企画

2008.11.17

アルプス電気株式会社

グローバル市場で電子部品ビジネスを展開しているアルプス電気では、毎年、本社採用の新入社員全員が参加した中国での一ヶ月半の製造実習を行なっている。また、大学に在籍されている学生・大学院生を対象に、チェコにおける製造技術系、ドイツにおける営業・管理系の海外インターンシップを行なってきた。

今回は、アルプス電気の関連企業である米国 Cirque 社において、新アナログ技術の領域に絞ったインターンシップを ALNA (ALps North America) を交えた 3 社で企画。この分野で活躍されておられる大学の先生方に直接参加のお願いに回った。結果として、群馬大学工学部の小林春夫教授の研究室から、修士 1 年生の八木拓哉さんと三田大介さんの参加が決まり、10月6日から31日までの26日間のインターンシップを成功裏に終えることができた。

新アナログ技術は、これからの情報家電や自動車、医療など様々な分野で不可欠な技術であるが、世界的にエンジニアが不足しており、日本も例外ではない。幸いにも米国 Cirque 社は、この分野で卓越した技術をもっており、インターンシップ環境として最適であることから、エンジニアの層を厚くする一助となることを念頭にインターンシップを企画・実行した。

今回のインターンシップを契機に、国境を越えた産学連携を目指し、群馬大学とアルプス電気、Cirque 社との間で人材と技術の一層の交流が深まることを期待している。

以上